

KEIWA COLLEGE REPORT

第55号

July 2008

敬和カレッジ・レポート

発行/敬和学園大学後援会
敬和学園大学広報委員会



闇の道 相手の声で 道つくる

CLOSE UP

「一人ひとりの自己実現へむけて」 共生社会学科 趙 晤 衍

新生生の大学生活がスタート！ サークル、お花見、オリエンテーション、植樹式
力と技と笑顔のスポーツ大会/スポーツ強化種目が決まりました
教員採用検査および社会福祉士国家試験に合格者
新任教員からのごあいさつ/敬和英語教育の魅力を探る
後援会総会のご報告/敬和学園財務状況等のご報告

2008

KEIWA COLLEGE REPORT

July 2008

発行所/敬和学園大学 〒957-8585 新潟市中央区南出島1-19-1 Tel.0254-26-3636
印刷所/オンオン印刷 新潟市中央区南出島1-19-1 Tel.025-283-2151

KEIWA チャレンジ学生ファイル②

英語文化コミュニケーション学科 3年
孫 家 朋

「人文学部の酒造り」



できたばかりの「わ」を試飲

去年4月にマーク・フランク先生のゼミに入り、みんなと一緒に「敬和ブランドの日本酒」というテーマで研究を始めました。

酒造りにはまず米が必要です。5月に田植えをし、9月に稲刈りを終え、ようやく11月から本格的な酒造りに入りました。冬の酒蔵の温度は外と変わらないので、その寒さに耐えることも大きな試練でした。蔵人と一緒に蒸米、冷却、麴作り、三段仕込みとひとつずつ行い、搾り作業を経て日本酒ができあがりました。これだけではただ“もの”ができただけです。この“もの”に「わ」という名前をつけて登録し、瓶詰めし、自らデザインしたラベルを貼り、ようやく“商品”になりました。今年4月に販売して以来、好評の声をたくさんいただいています。

日本酒は、飲み方によって味が異なってきます。この「わ」を冷やして飲むとさらさらでスーと口に入り、喉越しがよいです。常温で飲むと少し辛さが出てきますが、まろやかで舌触りがよく飲みやすいです。熱燗で飲むと辛さが直接喉にきて、その後口の中で広がって、辛さと酸味と甘みが同時に出てきます。この酒は、温度が上がるとともに辛さが増し、甘口の酒でありながら辛口の酒としても味わうことができます。これが「わ」の特徴です。

この一年の間にたくさんの人とコミュニケーションをとることができました。そして、日本酒の知識や歴史などお酒にまつわるいろいろなことを身に付け、「酒は歴史、酒は文化、酒は教育。酒を通じて新潟を知る。世界を知る。」ということを実感できました。



敬和学園大学の最新情報

キャンパス日誌

検索

www.keiwa-c.ac.jp/nisshi/



ケータイ付



敬和学園大学では、期待と不安を抱えて日本にやって来た新入留学生たちに、早く日本、そして大学での生活になれてもらおうと「新入外国人留学生歓迎懇談会」を4月11日に開催しました。

今年入学した留学生は、中国・ロシアからの学生8名で、本学の留学生は53名となりました。先輩留学生をはじめ、日本人学生や教職員、地域の国際交流団体の皆さまが大勢集まり、おいしい料理を囲んで会話もはずみ、和やかな時を過ごしました。

もくじ

CLOSE UP 「一人ひとりの自己実現へむけて」… 1	敬和英語教育の魅力を探る ……10
新入生それぞれの大学生活がスタート! … 4	大学基準に適合しました ……10
力と技と笑顔のスポーツ大会 …… 6	2008年度 後援会総会のご報告 ……11
スポーツ強化種目が決まりました …… 6	ただいま編集集中「軍事化の<現在>を問う」…11
新潟県教員採用選考検査に2名合格 … 7	同窓会リレー・エッセイ⑦ 皆川靖 ……12
社会福祉士国家試験に6名合格 …… 7	寄付者ご芳名 ……12
学生生活を体感! オープンキャンパス … 7	学事予告 ……12
新任教員からのごあいさつ	キャンパス日誌 ……13
大澤秀夫、川又正之、丸島宏太 … 8	敬和学園財務状況等のご報告 ……14
山崎由紀、マーク・フランク、吉田健太郎 … 9	

「一人ひとりの自己実現へむけて」

共生社会学科

趙 晤衍

りのおもしろさは、機械作りのように綺麗ではありませんがどこか足りないところにその美しさや愛着を感じるものです。こうやって私の人生の価値観もどこか緩みのある物足りない感じの大壺のように進化していったかのように感じています。

留学から始まった日本での生活には実にさまざまな出会いがありました。そのなかで記憶に残る体験談や専門領域の研究活動と実践への試みを中心に、「こく」部ですが、振り返ってみたいと思います。



● 陶芸から福祉へ

来日する前の韓国では陶芸を学び、毎日が土との格闘でした。皆さんが想像する芸術作品をつくるのではなく、どちらかというと創作生活磁器を手がけていましたが、本当は自由奔放な形に未練がありました。細かいところを気にしない、おろからかどこかにゆがみのある大きくて丸みのある壺が大好きにです。大壺は何回作っても毎回違う形になって楽しませてくれます。手作

は少ないほうでした。しかし、あえて日本を選んだ理由は、近くて遠い国という言葉がありますが、その「遠い」国はさて置いて、その「近さ」で決めたのです。留学中は、実に多くの方々から支えられながらの生活でした。アルバイト先や教会で出会った方々からの援助は数えきれませんでした。部屋を借りるのに保証人がいなくて困ったときや学費が足りなくて困ったときに快く貸してくれた人、体調を崩したとき温かく看病してくれた人など、たった一人ほっちで始まった日本での留学生活は、いつの間にか数えきれないほど多くの方々から支えられていました。

● 温泉への複雑な思い

日本のお風呂文化と大学在学時の冬のゼミ合宿のできごとを皆さんに紹介します。ゼミ合宿に参加したのは、ほとんどが日本人学生で、留学生は私ともう一人の韓国人の二人だけでした。日本に留学してしばらくして、温泉によっては浴場を毎日男女入れ替えるということを初めて知ったのですが、温泉に行く機会があまりなかったこともあり、その知識はほとんど無意味に近いものとしていつの間にか私のなかで風化されていきました。しかし、これが災いになるとは考えもしませんでした。

普通、風呂場の男女区分けはのれんの色や書かれている文字で判断がつくはずですが、その日ののれんは色も同じで文字も小さくて区別がほとんどつかず、昨日入った風呂に迷いも入りました。二人は、硫黄の臭いに酔ったかのように、ルンルン気

分で脱衣室に入り、素早く服を脱ぎ出し、友人はさっそくお風呂へ直行、私はトイレに直行です。一分も経たないうちに、いきなり外から不安そうで緊迫した叫び声が聞こえてきました。

その友人は視力がかなり弱く眼鏡をかけていたので、風呂に入ると眼鏡が曇って周囲がよく見えないといいます。隣には、何となく髪の長い人がいるという印象以外に特別変わったこともなく、その間に、眼鏡の曇りは少しずつ晴れてきました。ちょうどその時、隣の人が髪を洗い終わった直後で、二人の目が一瞬パッチリ合ったそうです。その瞬間、見知らぬ男女は箱根のとある温泉風呂場でただ口を大きく開けたまましばらく座っていたのでした。「ここは女風呂だ！早く出て！」という叫び声を最後に、友人はあっという間に自分だけでさっさと風呂を出ていってしまいました。



人生のようにどこか緩みのある創作皿（趙 晤衍 作）

訳も分からず一瞬の間でこの重大さやようやく分かった私は、心身ともに硬直した顔は真っ青になり、慌てて脱衣室にいきこうとしましたが、急に外が騒がしくなってきました。聞こえるだけで四、五人は超える人だかりが一気に脱衣室に入ってきたのです。正確な経過時間は分かりませんが、完全なトイレ監禁状態が二、三分近く続いたようで、その時間はこれまでの生涯で一番長くて緊迫した時間として、今もその記録は破られています。その時から温泉に行くときはのれんに対する複雑な思いを抱きつつ、更にトイレに入ることへのためらいが今日も続いています。

新潟にも素晴らしい温泉がたくさんあります。温泉は新潟での生活の楽しみの一つになりました。私なりの地域研究（福祉）という名目で今も休みになるとたまに温泉地を回っているのですが、未だに浴場が男女入れ替わることにはなかなか慣れない理由はなぜでしょうか。今になってその事件を振り返って見ると、その友人の緊迫した風呂場での体験談は私のつまらないトイレ騒動よりちよっぴりうらやましく感じることはどういふことでしょうか。この事件を機会に韓国から来る知り合いには温泉入浴での注意喚起もかねてたまにこの体験談を紹介し、私は笑いのものになっています。

●アートで生きがい支援

新潟に来てから新しく始めた活動があります。冒頭で陶芸の話をしたことが、実は東京の大学に通っているときに知的障がい者施設にボランティアに行ったことが縁で、

芸、音楽などその種類は数えきれないほどたくさんあります。

社会福祉の課題が歴史的にみて貧困問題から始まったこともあり、その貧困問題は長い歴史のなかで社会福祉に対するイメージをどちらかというと暗くしてきたという面もあります。戦後六〇年経った現代社会においても貧困問題は相変わらず存在していることは否めませんが、少なくとも六〇年前の貧困のイメージとは違って、社会福祉を量的に考えるよりは質として捉えることが当たり前のようになってきています。

その意味で現代社会福祉においては、生きがいや自己実現の支援を障がいや高齢にかかわらずごく当たり前に捉えるようになりました。それは要介護者のみでなく介護者にも必要であると認識されています。しかしながら現実にはなかなか進んでいないのが実情です。そこで陶芸工房「土心」ではアート生きがいサポート事業を立ち上げ



陶芸部の学生たちと一緒に作品づくり

これらの活動は必ずしも作品完成を目的にせず、プロセスにかかわることを大切にしています。体が不自由であってもボランティアと共に作品づくりにかかわり、その作品ができあがったらそのボランティアが届けに行くように心がけています。自分が作った作品を見つめながら微笑む姿はとても生き生きとしています。その姿を間近で見ることが出来るボランティアの方々は更



陶芸体験から生きがいを見いだす（からし種の家にて）

その施設長とともに陶芸工房を開設し、障がい者や一般人対象に陶芸教室を何年かやってきました。その時の経験を活かしつつ、新潟市内に陶芸工房「土心」を開設して三年目となります。こちらの工房は私なりに特別な思いと福祉実践とも繋げて構想してきたものであり、単なる世間にある陶芸工房とは異なる点があります。まだまだ試行錯誤の段階ですが、いづれ福祉と陶芸をつなぐ新しい実践の形になるよう少しずつ奮闘しているところです。

社会福祉の目標が、人間のかけがえのない一人ひとりの生活をしっかりと守りつつ、その人の幸福を実現する究極の援助方法の一つであるとしたら、その幸福を担保するものは障がいの有無にかかわらず一人ひとりの自己実現や生きがいを含めた総合的な援助の仕方が重要であると思います。私はたまたまその切り口を陶芸で始めただけで、このほかにも木工や染め物、絵画、園

なる幸せを感じるに違いありません。

これまでの活動を通して課題もたくさん見えてきました。スペースの狭さや不自由な体に合わせた気軽に使える道具の開発、活動に必要な財源調達の高難しさ、そして何よりも、この活動に係わる人作りが一番難しく、時間のかかる作業になっています。

社会福祉の理念と考え方を実践と結びつける作業は始まったばかりです。今後このような活動が陶芸のみでなく他の分野にも広がるような普遍性を見つけ、検証していかなければなりません。このような活動を新潟で、敬和学園大学において試みることでできたことに感謝しています。

障がいの有無にかかわらず自由に作品作りができ、作った作品を見せ合う展示会をゆくゆくは国を超えて開催するのが、私の夢でもあります。

趙 晤衍 准教授 プロフィール

●最終学歴

日本社会事業大学大学院

博士後期課程中退

●研究・演習のテーマ

地域を基盤としたソーシャルワーク実践のあり方と伝統的東洋思想の持つ現代的意義（社会福祉の視点から）を研究しています。ゼミでは、人とのふれあい、学習、理解、信頼を通し、それらを行動に表し、ともに生きることのまなざしを育むことを目指しています。

人として大切なものを学びながら



英文化「ミニテーション」学科一年
計良 愛奈

私たちは多くの方々から祝福され、一人ひとりの新しい生活をスタートさせることができました。入学当初は、期待と不安が入り混じる中、大学生活を送っていました。二ヶ月が経とうとしている今はその不安も徐々に薄れつつあります。

四月下旬に行われた、胎内での新入生オリエンテーションは、私の大学生活の不安を取り除くことができた出来事の一つでした。大学で出会った、新しい同級生と仲良くなることができるのか不安でしたが、一緒に食事をして、さまざまな行事に取り組んでいるうちに多くの人と打ち解けあうことができたように思います。さらにオリエンテーションでは、車椅子の操作やガイドヘルプの疑似体験を通して、障害を持つている方の気持ちを考えさせられました。また、他者と支えあい生きることの大切さを学ぶことができました。このオリエンテーションが、人として大切なものを学ぶ第一歩になったように思います。

私たちの大学生活は、まだ始まったばかりです。私たちが一人ひとり持っている夢に近づけるよう、これからの一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。また、サークル活動や大学の行事に積極的に取り組み、その中での人との交わりの中で、人として大切なことを学び、成長できるように努めたいと思います。

温かいキャンパスの雰囲気に包まれて



国際文化学科一年
高橋 愛子

受験で大学へ初めて伺った日、担当職員の方が「この先生方は素晴らしいですよ。知識の世界は千畳敷です。」とおっしゃったのを聞き、私の進学校選択は間違っていないと思えました。入学してさらにその気持ちは確実に変わりました。教職員の方々だけでなく、バスの運転手さん、学食の調理師さん、売店・お掃除の方までみんな感じがよくて対応が温かい。学生の皆さんはピンとこないかもしれませんが、三月まで労働者だった私は、反省させられました。一人ひとりの仕事に対する姿勢が、この学園を創っているのだと感じさせられました。

さて右を向いても左を向いても、自分の子供よりもさらに年下ばかりです。そのうえ先生方も私より若い！そんな中で学ぶことは、ある意味でカルチャーショックでした。見方を変えれば若い学生の皆さんもそうでしょう。自分の親以上のオジサンやオバサンが同級生だなんて、ね！でも「時」は優しい。すべてを包み込んで静かに流れていきます。気が付けば、さりげなく挨拶しあい、テストを心配しあったり、相談したり…ただの同級生同士になれたんです。

先生方は知識の宝庫です。「求めよさらば与えられん。」働いたお金で勉強している身ですからしっかり「元」を取りたいです。先生や友人に刺激をもらいながら、成長していけることに感謝しています。



今年度も新入生が学生生活の最良のスタートをされるように、さまざまな行事を行いました。大学での学術的な深い学びに触れる「新入生歓迎公開学術講演会」、すべてのサークルを紹介する「学生団体紹介」、海外からの留学生たちを歓迎する「新入外国人留学生歓迎懇談会」、教職員や上級生と桜を楽しむ「お花見ランチ」、新入生全員の親睦を深める「新入生オリエンテーション」、そして新入生の成長を願う「入学記念植樹式」等が開催されました。

学生団体紹介は今年から本学体育館（パーム館）に会場を変更し、四月九日に行いました。参加団体は二十四を数え、各サークルが新入生に興味を持ってもらうために出しあったアイデアを充分に発揮し、新入生に大きな刺激を与えていました。

お花見ランチは四月十五日の昼休みに構内の桜の木の下で行われました。桜のたよりを聞くころになると、主催するボランティアセンターには「今年はいつやりますか?」と問い合わせます。「手伝いますよ、

新入生それぞれ

大学生活がスタート!

何時に来ればいいですか?」「差し入れは笹団子でいいかい?」。学生や教職員、さらには「学生さんは何が好きですか?」とお菓子をたくさん差し入れてくださった「富塚・のぞみの里」の皆さまの心が、参加した新入生たちの笑顔となって満開の桜の下で輝きました。

新入生オリエンテーションは、四月二十四、二十五日の二日間、胎内市で行われました。今年度は天候に恵まれましたが、初日は車椅子の操作や、目隠しをした友だちとガイドヘルプの疑似体験等して新たな発見をし、二日目には恒例のクラス対抗綱引き大会で協力して声を出し合い、一本の綱を引くことで学生同士、また教職員とともに大いに盛り上がりました。

五月九日の入学記念植樹式では、今年もユリノキが植えられました。幸い天候にも恵まれ、参加した新入生と教職員等が讃美歌を歌い、聖書の言葉や学長のメッセージに耳を傾けた後、新入生の成長を願いながら交替で鉄入れを行いました。(事務局)



大学生活の日々を大切に歩みながら



共生社会学科一年
須貝 英幸

敬和学園大学に入学したばかりのところ、みんなと会話することもできず、この先の学生生活に対して不安がいっぱいでした。しかし二、三週間すると自然と挨拶をかわせるようになり、今では友達もできて学生生活が楽しくなっています。大学生活は高校とは全然違います。最初は、朝礼なしですぐに授業が始まることにも驚きました。授業時間の長さやレポート課題など、高校とは違う大学の環境に早く慣れたいです。

一泊二日で行われた新入生オリエンテーションは、私たち新入生同士の気持ちを上げる行事となりました。一日目のボランティア活動では車いす体験や目隠しをしている人の補助をしました。その日は雨が降っていて室内での活動となり、ホテル内の狭い通路を利用したので、ボランティアの大変さを考えさせられました。その後のクラス別集会では基礎演習のクラスに分かれて交流を深めました。オリエンテーションの中で最も印象に残ったことは二日目に行われたクラス対抗綱引き大会です。どのクラスも力が強く、団結力があって盛り上がり、最高の大会となりました。

将来は社会福祉士国家試験に合格して、障害者支援の分野で一人でも多くの方の役に立ちたいと思っています。その夢をかなえるために学生生活の一日一日を大切に、一生懸命勉学に励みたいと思います。

自分で行動する大切さ



共生社会学科一年
椿 竜馬

はじめまして、私たち十八回生は四月にこの敬和学園大学に入学することができました。みんながそれぞれの夢を叶えるために、もしくは夢を見つけるための学園生活が始まりました。

初めのころは、新しい人間関係になじむことができなかったと思っていましたが、ありました。しかし胎内での新入生オリエンテーションを通していろいろな人たちと話をすることができてよかったです。最後に最後のクラス対抗綱引き大会では、優勝することができました。これはゼミのみんなが団結した結果だと思っています。このゼミに入ってからよかったです。

大学生活に、慣れてきて最近よく考えることがあります。やっぱり大学は、中学や高校と違って、どんなことをするにしても自分から行動しなければならぬと思います。今までと違って何かあっても誰も助けてはくれません。自分でしっかり考えていかないとけないのです。大学生活は自由です。だから自分の大学生活を楽しくしたいのならば、自分で動かなければならぬのです。自分で行動しなければ大学生活は楽しいものにならないと思います。

私たちは、それぞれの夢に向かって一歩一歩進んでいます。勉学のことだけではなく、精神面でも成長したいと思っています。

力と技と笑顔がひとこ

スポーツ大会のご報告

今年のスポーツ大会は、六月七日にソフトボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、テニス、卓球の六種目で開催しました。

優勝を目指して真剣に練習を重ねてきた学生たちから、日ごろ身体を動かす機会の少ない教職員まで、総勢一二九名が集まって、あつい“戦いが繰り返りひろげられました。普段見られないようなリーダーシップを発揮する学生、着慣れないジャージ姿で奮闘する教職員の姿、鳥肌の立つような素晴らしいプレー、そして笑顔で試合を応援するギャラリーの仲間たち、参加者それぞれが素敵な思い出を残すことができました。

この大会は、毎年サークルの学生たちによって運営されています。彼らのしつかりとした進捗と、大会に参加した皆さんのがらにより、今年も大いに盛り上がった大会となりました。(学生委員会 平塚)



学生の笑顔と汗が光りました

最後にして最高のスポーツ大会

共生社会学科 四年

新田見 祐企



今年でスポーツ大会への参加も四回目となりました。一年生の時からバスケットボールに参加してきましたが、今年が初めてソフトボールにも挑戦しました。これまで優勝の経験がない私たちのチームは、たかが学内のスポーツ大会とは考えず、今年こそ優勝できるように、授業の空き時間なども利用して、日々練習を続けてきました。今年の参加チームはバスケットボール、ソフトボールともにレベルが高く、試合前から白熱した試合が予想され、優勝するのは厳しいかなと思っていたのですが、試合中はみんなで声を出しあい、最後までモチベーションが下がらないように心がけました。苦しい試合もありましたが、バスケットボールとソフトボールの両方で優勝することができました。

今年の優勝の要因は、なんといっても素晴らしいチームメイトに恵まれたことと、そして勝負気持ちを最後まで維持できたことだと思えます。最後のスポーツ大会で、私は最高にすばらしい思い出と充実感を得ることができました。スポーツ大会は仲のよい仲間たちと参加できる、そして大学生活四年間で四回しか参加することのできない貴重な行事です。私は今年が最後でしたが、来年はもっと多くの学生が参加してスポーツ大会がもっと盛り上がることを願っています。

初挑戦の社会福祉士国家試験で六名合格！

「社会福祉士」という資格をご存知ですか？「社会福祉士」とは福祉の分野で相談援助を専門とする国家資格で、合格率が毎年二〇パーセント台という大変難しい国家試験に合格しなければ取得することのできない資格です。

敬和学園大学の共生社会学科は全人格的な人間教育を通して福祉を学び、社会福祉士の受験資格を取得できる学科として、今年三月に初めての卒業生を出しました。この学生たちが国家試験に挑戦し、六名の合格者を出すことができました。胸を張って誇れる結果ではないかもしれませんが、初めての挑戦で二〇パーセント台の合格率と、全国一九八大学のうちの中位に位置することができたことに対して、学生たちの健闘をたたえたいと思います。

(共生社会学科 青山)

就職

2008年 教職課程卒業生の進路

卒業年度	氏名	勤務校	採用種別
2002	小林 絵美	燕市立燕中学校	教諭
2005	佐々木 美佳	村上市立山北中学校	教諭
2002	大場 太士	新潟市立鳥屋野中学校	講師
2003	横山 美幸	新潟市立本丸中学校	講師
2003	三星 寛徳	十日町市立西小学校	講師
2004	天木 美佳※	新潟県立中条高等学校	講師
2004	中川 千寛	新潟県立糸川高等学校	講師
2007	坂内 祥晃	英智ウィル学院高等学校	講師
2007	小野塚 和美	弥彦村立弥彦中学校	講師
2007	吉田 正樹	伊勢崎市立赤堀中学校	講師

※ 2007年10月からの採用で、引き続き2008年度も継続。

今年も敬和から教員に採用されました。――新潟県教員採用選考検査二名合格！

教員の採用が厳しい中で、敬和学園大学の教職課程から、今年度は中学校の教諭として二名、高等学校の講師として二名、中学校の講師として四名、小学校の講師として一名採用されました。その他にも、昨年度から引き続き講師として活躍している卒業生もいます。

敬和学園大学の教職課程では、小人数の徹底した実践教育の中で教員として必要な知識・技術を身につけていきます。その成果が実を結び、毎年新しい教員が巣立っています。

また卒業後も講師として教育の現場で経験を積んでいく中で、最終的に教員採用選考検査に合格しており、毎年着実に卒業生が採用されています。(教職課程委員会)

第20回 社会福祉士国家試験合格者

卒業年度	氏名	勤務先
2007	馬場 一樹	医療法人社団竹内会
2007	藤田 亨	社会福祉法人御幸会
2007	柄澤 仁美	社会福祉法人豊聖福社会
2007	近藤 真人	新潟医療福祉大学大学院進学
2007	佐藤 大	医療法人社団竹内会
2007	田中 尚行	社会福祉法人長岡福祉協会

スポーツ強化種目が決まりました

敬和学園大学では、二〇〇九年度入学生向けに「スポーツ推薦入試」を実施します。対象種目は、「アーチェリー」「バドミントン」「硬式テニス」の三種目です。学業とスポーツの両立を通して、視野をひろげ、教養を深め、人間らしい心を備えた人間を育てていくことを目指します。

アーチェリー部は、この四月に新潟県の国体監督でもある夏井博臣(ひろおみ)さんを監督兼コーチに迎えました。日々の練習の成果はすでに出てきており、新潟県代表強化選手として、夏井監督をはじめ、国際文化学科の梨本晃太さんと共生社会学科の本間唯さんの三人が選ばれました。二〇〇四年に完成したアーチェリー場もよりレベルの高い練習に耐えられるように、今後改良していく予定となっています。またバドミントン部は、中部学生選手権にて、国際文化学科の武下利一さんと藤原達矢さんがダブルス四位、武下さんがシングルスで四位という成績を収めており、それぞれ新潟県の強化選手にも選ばれています。テニス部は、卒業生でT&Sテニスクラブの片山浩之さんをコーチに迎え、昨年完成した人工芝コートを使つての活動を本格化させています。

いずれの種目も、今年目標はインカレ(全日本学生選手権大会)と大分国体でよい成績を収めることです。強化種目で特に優秀な成績を残した学生には授業料等を軽減する奨学金制度を用意し、学生たちの活動を応援していく予定です。皆さんも一緒に応援してください。(学生部長 富川)

充実した学生生活を体感！

オープンキャンパスのご案内

オープンキャンパスは、大学進学を考えている高校生などを対象に、大学の施設や講義を無料で開放し、敬和学園大学をよりよく知っていただく機会となっています。今年六月に第一回を終了し、今後は、七月二十一日(祝)、八月二十四日(日)、九月十五日(祝)、十月二十六日(日)の四回実施します。大学の講義を体験できる模擬授業やサークル体験、ネイティブの先生方との語学交流、在学生によるキャンパスツアー、推薦入試対策として人気の模擬面接、無料ランチ等々、たくさんさんのプログラムを用意して皆さまをお待ちしています。教員と学生の距離の近さが敬和の魅力です。オープンキャンパスでは、本学の学生、教職員が参加者お一人ひとりに敬和のよさを直接お伝えします。敬和のオープンキャンパスで、楽しく充実した学生生活を体感してください。(入試委員会・入試室)



皆さんの参加をお待ちしています！

羊飼いから園丁に



国際文化学科教授
大澤 秀夫

信州の松本からこの春、敬和学園大学にやってきました。前庭の桜の並木と、みずみずしいキャンパスの若葉、そして二王子の山に残る雪に励まされて、「さあ始めよう」と元氣を出しているところです。開学以来、延原時行先生が担ってこられた宗教部長の働きを受け継いで、チャペル・アツセンブリ・アワー、また「キリスト教学」を中心に、皆さんと一緒に過ごしています。祈りと地域の協力によって始められた敬和学園大学の持ち味を活かすことができるよう力をつくしたいと思います。

五月の始めに、新入生の入学記念植樹として時計台の下にユリノキを植えたのですが、その時こう祈りました。「ユリノキがしっかりと根付きますように。また入学した一人ひとりが大学という園にしっかりと根付いて、人として生かされてあることの喜びとかけがえのない使命を深く知ることができまますように。」春から初夏へとむかうキャンパスのみずみずしい緑は、敬和学園がその名前どおり「園」であることを教えてくれます。エデンの園に置かれたアダムの使命は、園を耕し、守ることでした。私はこれまで、ずっと教会の牧師をしてきましたので、羊飼いに譬えられることがありました。でも、これからは園丁です。事実、敬和学園の施設係の方々のみなよい園丁たちですから、私も見習いたいと思います。

とも学び、とも成長していきます



英語文化コミュニケーション学科教授
川又 正之

専門は、英語教育学、応用言語学です。大学卒業後、公立の高等学校の教員をしていましたが、自分の英語力や専門的な知識の不足を痛感し、退職をして大学院で学びました。一年生の皆さんの中には、シニア入試で入学された社会人の方がおられますが、私自身も社会人から学生に戻った時は、勉強できることへのありがたさを感じました。経済的には苦しい部分もありましたが、よき学びの場を与えてもらったと今でも心から感謝しています。

敬和学園大学では、「英語科授業研究2」や「英語教授準備コース」などの授業を担当しています。「異言語教育における学習者の母語の効果的な活用法」が、高校の教員時代からの大きな研究テーマですが、ここ数年来、「英語」という言語がもつ社会的な特性にも、強い関心を抱くようになりました。英語という言語を、単なる英米人の母語としてではなく、世界のさまざまな民族をつなぐ共通言語としてとらえ、「異文化間コミュニケーション」と「言語帝国主義」という二つの大きな観点から、その「光」と「影」の両面を明らかにしていきたいと思っています。

四月からここ新発田・聖籠の地に、新たな「学び」と「教え」の恵みの機会を得たことを大変うれしく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

学生とともに学び合い成長する喜び



英語文化コミュニケーション学科准教授
山崎 由紀

桜が咲き始める少し前に初めて通った敬和学園大学の正門周辺の景色が、刻々と季節の営みを伝えていきます。着任直前に、アメリカの首都ワシントンから新潟に引越してきました。敬和学園や新潟の皆さんのホスピタリティと心の穏やかさや温かさを感じしながら、毎日を通していきます。

敬和学園大学では、専門のアメリカ社会史や移民史をもとに、「英語文化圏研究」「英米文化演習」「英語」「基礎演習」を担当しています。学生たちと日々交わす言葉のすべてに新しい発見があります。時々「なぜこの分野の研究者になったのか」という主旨の質問を受けますが、それぞれの学年への返事の中で、その年頃だった自分が今どうしてここにいるのかを改めて思い起こす機会となり、自分の再発見にも繋がっています。

毎週の授業で、受講者全員が成長する姿を見る醍醐味も感じます。授業中の小さなコメントをも受け止めて、毎週大きな成長を示す学生たちの様子には、週末が終わるごとに高く伸び、正門前の景色全体を変え力を持つ美しい稲を重ねて想起します。

日々、敬和学園大学や地域の皆さんと学び合う時間に喜びを感じつつ、この春初めて出逢った学生たちが卒業するころにはどのように成長しているのかを、今から楽しみに思うのです。

書物と緑と静寂に囲まれて



国際文化学科教授
丸岡 宏太

すでに大学での教員歴が一〇年以上あるにもかかわらず、新たな教壇に立つときとていうのはどうしても緊張を強いられるものです。敬和学園大学に赴任してから早いもので三ヶ月、ようやくそのような初期の緊張から解放された感じです。

私の専門はドイツ近代史で、敬和学園大学では「西洋史概説」、「ヨーロッパ文化論」、「キリスト教史」の三つの講義を担当しています。

授業についての感想・質問を書いてもらうと、実に多くの学生たちが熱心に話を聞いていることがわかります。高校では暗記物の歴史は不人気科目とされているのですが、これは驚きでした。それとともに、これは手抜き授業はできないなどという思いを強くしているところでもあります。

ところで、大学に必要なのはたかさんの書物と緑と静寂だ、とある知り合いに言われたことがあります。敬和学園大学はその条件が完全に満たされているとまでは言えませんが、いずれも十分に合格点には達していると思います。

私は東京のど真ん中の出身ですが、職場としては自然に囲まれた地方の方が断然いい。この新潟の静かな環境の中で、落ち着いた研究・教育活動に励んでいきたいと考えています。

どうか皆さんよろしく！

グローバルを考え、ローカルに解決する力



国際文化学科講師
吉田 健太郎

日本貿易振興機構（JETRO）、アジア経済研究所研究員、米国のシンクタンク客員研究員を経て、この四月に敬和学園大学に赴任いたしました。JETROでは「地域産業は、いかなる要因によって、どのような経過を辿って発展を遂げるのか」といった問題意識から地域経済活性化や地域産業振興に関わる研究を行ってきました。本学では、「地域産業論」や「現代企業論」などの科目を担当し、研究テーマは今までのものを継続しております。

研究を通じて感じるのは、現在、世界の社会・経済システムは大きなパラダイム・シフトの渦中にあり、それに合わせて我々自身が考え方を大きく方向転換しなければならぬ時代へと突入しているということです。例えば、日本国内の「中心市街地の衰退」の契機となった「日米構造改革による圧力」、「日本の地方産業の空洞化」の一因となった「中国の安価な労働市場台頭」など、今や日本国内で一眼ローカルに思える現象も紐解けば他の諸外国の影響にぶつかる時代となってきました。

講義を通して、学生に現実への問題意識・関心を喚起させ、実際に起こっている地域の問題を「グローバルな視点で捉え」、ローカルに向き合い解決できる力を「現場から学ぶ」、そんな力を養うための「実学」を提供できるよう心がけていきたいです。

新任教員

新任教員

楽しみながらTOEICのスコアアップ
敬和英語教育の魅力を探る

敬和学園大学では実践的な英語教育の環境として、ビジネスやコミュニケーションに使う英語力を測定するTOEIC対策の授業も開講しています。この一年間で得点が五〇〇点台から七〇〇点台までアップした学生さんにインタビューしました。

馬場…繰り返し問題を解いていく中で、速く解答することができるようになり、問題量の多い試験に対応できました。
「これからの目標は？」
馬場…スコアアップもそうですが、聞いてわかるだけでなく、自分の会話力を磨いていきたいです。
若月…通じればよいで満足せず、その場に合った英語が使えるようになりたいです。
宮崎…英字新聞を読んでビジネスに使う語彙を増やすなどして、いろんなジャンルの英語に対応できるようにしたいです。「楽しみながら勉強する」「敬和の環境を活用する」というのが秘訣のようでした。
(聞き手 金山)

馬場はる香…カナダへの短期留学が大きかったと思います。iPodにTOEIC練習問題を入れて電車で聞いたり、DVDで子ども番組をメモを取りながら見ました。「スポンジボブ」はお勧めです。

新任英語教員のご紹介
人文学部 契約講師
ケヴィン・マハー



人文学部 契約講師
ケヴィン・マハー

若月美穂…私のお勧めはインターネット英語学習サイトのiKnowです。イメージと例文、発音などで構成されていて、覚えるまで終われないので勉強になります。家でやってみたらなかったことは、大学で先生方に聞いたのもよかったです。

今年初めて日本にやってきました。日本に来る前は韓国で七年間、そのうちの三年間はソウルの弘益大学で教えていました。それ以前にブラジルで教えたこともありまして、私が英語教授法の資格を取得したのはハンガリーでした。修士号(平和学)はオーストリアの大学で取得しました。長年にわたり英語を教えてきて、今米国の大学からTESOL(英語教育)の分野で二つ目の修士号を取得しようと思っています。世界の国々の文化や政治、言語に関心があり、読書や旅行が大好きです。敬和学園大学で英語を学生たちに教えるながら、楽しい毎日を過ごしています。

宮崎…新しい単語をたくさん習えましたし、写真を見て問題を予測するなどのコツを教えていただけでよかったです。若月…本番に強くなる授業でした。また友人と切磋琢磨しながら学習できる環境がスコアアップにつながったと思います。

「大学の『検定試験準備コース』の授業はどのように役立ちましたか？」
宮崎…新しい単語をたくさん習えましたし、写真を見て問題を予測するなどのコツを教えていただけでよかったです。若月…本番に強くなる授業でした。また友人と切磋琢磨しながら学習できる環境がスコアアップにつながったと思います。

二〇〇八年度 後援会総会のご報告

二〇〇七年度決算について、収入部門では、会費収入の予算額が満たされたことと学生のクラブ活動が活発に行われたため学生団体戻入れ金が減額したこと、支出部門では、企業懇談会などの経費削減に努めた結果、事業活動費が減額したことや、テニスコートの三面を人工芝に改修したことなどの説明があり、それぞれ承認されました。二〇〇八年度事業計画並びに予算については、会報誌「カレッジ・レポート」を卒業生・在校生に送るために年々増額の見込みであることなどを含め、承認されました。本後援会は、大学開学時から組織され、「カレッジ・レポート」の発行を支援して

います。また、今年度も七月に「三年生との保護者懇談会」、十一月に「企業との就職懇談会」が大学行事としてありますが、その費用を後援会が担っています。その他学生のクラブ活動や敬和祭、就職活動、駐車場など、皆さまからの後援会費は、学生の豊かな学びと安全な生活を支援し、教職員の方がよりよい環境で過ごされるように活用されています。役員一同と力を合わせて後援会活動の充実に努めていきますので、今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いします。
(後援会長 横山由美子)

収入の部 単位：円

科 目	2007年度予算	2007年度決算	2008年度予算
後 援 会 費	24,500,000	24,990,000	22,750,000
寄 付 金	10,000	10,000	10,000
雑 収 入	1,000	2,681	1,000
学生団体より戻入れ金	400,000	236,891	200,000
収 入 小 計	24,911,000	25,239,572	22,961,000
前 年 度 繰 越	4,968,673	4,968,673	2,862,776
収 入 の 部 合 計	29,879,673	30,208,245	25,823,776

支出の部 単位：円

科 目	2007年度予算	2007年度決算	2008年度予算
事 業 活 動 費	3,440,000	2,876,223	3,440,000
会 議 費	200,000	140,136	200,000
事 務 費	30,000	30,000	30,000
通 信 費	2,760,000	2,475,450	3,301,440
印刷製本費	2,570,000	2,495,955	3,079,000
手 数 料	30,000	15,645	30,000
学生クラブ補助費	3,000,000	3,000,000	3,000,000
アネックス維持管理補助費	700,000	700,000	700,000
学園祭補助費	3,000,000	3,000,000	3,000,000
教職員活動補助費	300,000	300,000	300,000
施設、設備、備品補助費	12,069,000	11,506,500	7,006,500
旅 費 交 通 費	80,000	84,000	80,000
雑 費	700,673	721,560	656,836
予 備 費	1,000,000	0	1,000,000
支 出 小 計	29,879,673	27,345,469	25,823,776
次 年 度 繰 越 金	0	2,862,776	0
支 出 の 部 合 計	29,879,673	30,208,245	25,823,776

大学基準に適合しました



敬和学園大学は、二〇〇七年度に大学認証機関である大学基準協会(UAA)の審査を受け、大学基準に適合する判定をいただきました。今後七年間、大学基準協会からいわば「品質保証」された認証を受けました。

そのために二〇〇六年度に行なった自己点検・評価の報告書(A4版で三七六頁)をはじめ、多くの書類を大学基準協会に提出し、昨年十一月には実地調査も受けました。幸い改善命令にあたる勧告はありませんでした(詳細はホームページと印刷物で公開)。優れた長所と指摘された地域貢献を保持しつつ、今後も改善・改革を進めながら、地域社会に貢献する大学として、キリスト教主義リベラルアーツ教育に力を注いでまいります。
(学長補佐 山田)



認定証を手にする新井学長と宇田川局長

たいま編集「軍事化の(現在)を問う」

去る二〇〇七年十一月十日、新潟市民プラザにて開催された学術シンポジウム「軍事化の(現在)を問う」ジェンダーの視点から」を単行本(インパクト出版会)二〇〇八年夏発売予定、定価一、五〇〇円)に編集しています。

このシンポジウムは、敬和学園大学共同研究チーム(代表…加納実紀代)が主催したもので、二〇〇五から二〇〇七年度に取り組んできた共同研究(科学研究費補助金基盤研究B)の成果の一部です。

第一部は「表象に見る第二次世界大戦下の女性：日本・ドイツ・アメリカ」と題し、各国の戦時中の雑誌を取り上げ、女性の戦争への「貢献」を分析しました(加納、神田より子、桑原ヒサ子、松崎洋子)。第二部ではジェンダー研究の第一人者、上野千鶴子氏(東京大学大学院人文社会学系研究科教授)をお招きし、「軍事主義とジェンダー」というタイトルで問題提起をしていただきました。

この研究を通して、直接武器をとらず、一見平和的に見える女性たちも日常的に「軍事化」に関与していることが浮かびあがってきました。この一冊が、「軍事化」を批判的に考え、「平和」を模索するきっかけになれば幸いです。

お問い合わせ
戦争とジェンダー表象研究会 杉村
電話 〇二五四一二六一三三六
メール sugimura@keiwa-c.ac.jp

キャンパス日誌

- 4月 1日 学年始め
4日 入学式、保護者ガイダンス、後援会総会
9日 新入生歓迎公開学術講演会
10日 履修相談日、教科書販売
11日 前期講義開始、履修登録期間
15日 お花見ランチ
16日 教授会
17日 履修登録票提出期間
18日 チャペル・アッセンブリ・アワー
23日 豊栄高校大学見学
24日 履修登録確認期間
5月 7日 教授会
8日 内モンゴル放送大学
9日 チャペル・アッセンブリ・アワー
16日 チャペル・アッセンブリ・アワー
17日 大学オープン・カレッジ
19日 JCLP アメリカ・エンブリ・リッドル航空大学生
22日 後援会役員会
23日 巻総合高校大学見学
27日 理事会・評議員会

- 28日 臨時教授会
30日 チャペル・アッセンブリ・アワー
6月 4日 教授会
5日 社会福祉現場実習・事前実習2
6日 チャペル・アッセンブリ・アワー
7日 スポーツ大会
9日 社会福祉現場実習1
11日 新潟市北区オープン・カレッジ
12日 新発田市オープン・カレッジ
13日 チャペル・アッセンブリ・アワー
15日 献血並行骨髄バンクドナー登録会
16日 オープンキャンパス
18日 新潟市北区オープン・カレッジ
19日 新発田市オープン・カレッジ
20日 チャペル・アッセンブリ・アワー
21日 大学オープン・カレッジ
23日 創立記念日
25日 新潟市北区オープン・カレッジ
26日 新発田市オープン・カレッジ
27日 チャペル・アッセンブリ・アワー
28日 大学・高校合同研修会



同窓会リレー・エッセイ⑦
いっしょに心にする言葉

一九九四年度卒業
皆川 靖

私の学生生活でいちばんの思い出は、昨年度末に退職されたアラン・ブロンデ先生との出会いです。ブロンデ先生には三、四年生のゼミでお世話になりました。先生の指導は厳しく、授業の進行はオール・イングリッシュ。教科書の要約課題が毎回課され、間違えると徹底的にリライト（書き直し）させられました。ゼミの夢を見て目が覚めてしまうこともあり、先生や英語に嫌悪感を持ってしまふこともありましたが、今ではあの厳しさに耐えることができたということが自信になっています。

卒業後は、敬和学園大学の教務係で働いています。主な仕事は、授業時間割の作成、履修登録・成績処理、科目等履修生の受け入れなどです。厳しい仕事に挫けそうになることもたびたびですが、ブロンデ先生には卒業後にも励ましていただきました。

「No pain, no gain.」（痛みなくして得るものなし）という先生の言葉が胸に残っています。何かにチャレンジしたくても不安でもう一歩前に踏み出せない時、この言葉を思い出し自分を奮い立たせています。

今年の敬和祭では、同窓生はもちろん諸先生方にもお集まりいただき、「懇親会」を開催する計画にしています。大学の新しい施設を見学したり、思い出話に花を咲かせながら、みんなで旧交を温めましょう。

寄付者ご芳名

- 一般
荒井和子、大作寿、遠藤泊郎
藤井研一、林律子、本間篤
市野つくし、飯島良正、五十嵐海理、五十嵐富子、川西進、川野安子、小林多恵子、小池又男、小西良憲、小竹敏夫、小竹美千子、倉松功、村山国弥、村上毅2、村松信雄、中原忠代、西川幸作、小田邦矩、小田トシ子、荻野秀子、岡崎晃、奥田富子、尾坂敏子、齋藤榮、笹川寛、佐々木克治、鈴木照夫、鈴木史江、高橋甲三、富井康年、富井良子、椿寿子、内山イチ子、上原幸次郎、山田いく、米田美智子、カナン建物棟加藤哲男、小山朋子、今井正仁、坂爪直樹、田中正範、佐藤幸大、佐藤正教、新井明4、敬和学園大学後援会2

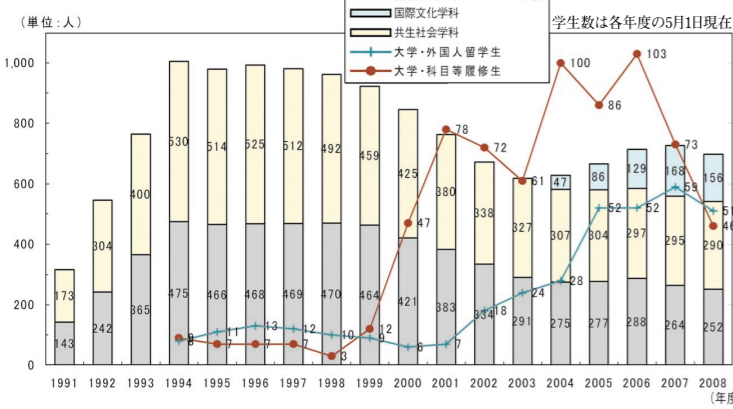
本学にお寄せくださった皆さまの支援・ご厚意に心より感謝申し上げます。

学事予告

- 7月
3日 新発田市オープン・カレッジ③
15日 前期講義終了
16日 補講日（二十二日まで）
19日 三年生保護者との就職懇談会
21日 オープンキャンパス②
23日 前期末試験（八月二日まで）
27日 秋季入学試験
30日 社会福祉現場実習1報告会
31日 共生社会学科映画鑑賞会
8月
1日 英語科リフレッシュ・セミナー
2日 夏期休暇（九月二十四日まで）
3日 前期集中講義1（八月八日まで）
4日 前期集中講義2（八月二十日まで）
18日 前期追試験（二十日まで）
19日 職員研修
21日 オープンキャンパス③
24日 前期集中講義3（八月二十八日まで）
25日 再試験（二日まで）
9月
1日 国家試験対策講座3（三日まで）
2日 教育実習事前指導（三日まで）
3日 前期追試験（五日まで）
15日 オープンキャンパス④
22日 前期卒業式
24日 後期入学式
25日 履修相談日
26日 後期講義開始
27日 後期履修登録期間（十月日まで）

財務状況

図2 《学生数の推移》



二〇〇三年度に加盟した大学基準協会の評価が二〇〇七年度に行われ、比較的良好な評価で適合を受けました(一〇頁参照)。適合期間は二〇一五年三月までです。なかでも大学のオープン・カレッジ(公開講座)と新発田の中心街に設置した新発田学研究センターの働き(表2)が社会貢献として高く評価されました。一方で助言が四点ありましたので、これらは改善してゆきたいと思っております。その中の一つは早急に中長期

二〇〇七年度事業報告

2007年度資金収支計算書及び2008年度同予算書

表3 《学校法人 敬和学園》

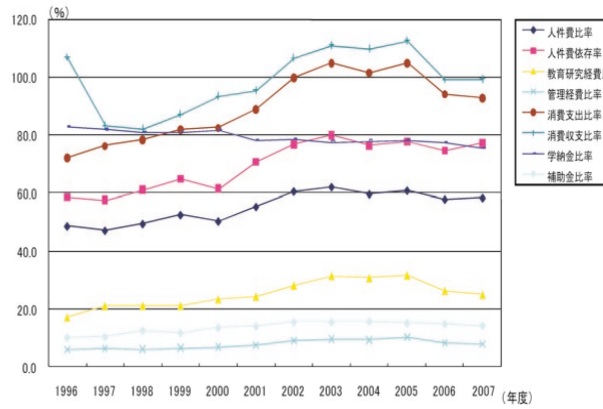
科目	2007年度決算額	2008年度予算額	増減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	1,036,704,560	1,024,860,000	11,844,560
手数料収入	16,903,987	16,122,000	781,987
寄付金収入	44,452,047	49,674,000	△ 5,221,953
補助金収入	402,276,041	401,135,000	1,141,041
(国庫補助金収入)	(137,179,000)	(133,105,000)	(4,074,000)
(地方公共団体補助金収入)	(265,097,041)	(268,030,000)	(△ 2,932,959)
資産運用収入	27,760,561	16,150,000	11,610,561
資産売却収入	810,101,616	900,000,000	△ 89,898,384
雑業収入	101,544,049	100,616,000	928,049
雑収収入	46,356,193	34,351,000	12,005,193
前受金収入	204,408,000	206,600,000	△ 2,192,000
その他の収入	131,027,451	43,688,000	87,339,451
資金収支調整勘定	△ 272,984,410	△ 242,121,000	△ 30,863,410
前年度繰越支払資金	1,068,905,144	908,621,144	160,284,000
収入の部合計	3,617,455,239	3,459,696,144	157,759,095
支出の部			
人件費支出	1,101,989,018	1,035,117,000	66,872,018
教育研究経費支出	240,877,707	261,790,000	△ 20,912,293
管理経費支出	124,227,421	116,631,000	7,596,421
借入金等利息支出	13,329,702	11,341,000	1,988,702
借入金等返済支出	51,855,938	51,163,000	692,938
施設関係支出	20,118,410	35,785,000	△ 15,666,590
設備関係支出	26,018,919	28,077,000	△ 2,058,081
資産運用支出	1,172,249,517	1,005,000,000	167,249,517
その他の支出	86,396,604	80,131,000	6,265,604
予備費	0	5,000,000	△ 5,000,000
資金支出調整勘定	△ 78,704,497	△ 62,954,000	△ 15,750,497
次年度繰越支払資金	859,096,500	892,615,144	△ 33,518,644
支出の部合計	3,617,455,239	3,459,696,144	157,759,095

表4 《敬和学園大学》

科目	2007年度決算額	2008年度予算額	増減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	727,497,100	705,051,000	22,446,100
手数料収入	10,654,267	10,147,000	507,267
寄付金収入	20,513,810	14,674,000	5,839,810
補助金収入	137,236,983	133,160,000	4,076,983
(国庫補助金収入)	(137,179,000)	(133,105,000)	(4,074,000)
(地方公共団体補助金収入)	(57,983)	(55,000)	(2,983)
資産運用収入	24,110,663	12,420,000	11,690,663
資産売却収入	725,105,171	850,000,000	△ 124,894,829
雑業収入	8,215,618	5,185,000	3,030,618
雑収収入	32,770,574	1,809,000	30,961,574
前受金収入	167,844,000	173,600,000	△ 5,756,000
その他の収入	192,370,566	29,765,000	162,605,566
内部資金収入	24,428,687	23,862,000	566,687
資金収支調整勘定	△ 224,605,774	△ 171,432,000	△ 53,173,774
前年度繰越支払資金	816,360,591	542,396,591	273,964,000
収入の部合計	2,662,502,256	2,330,637,591	331,864,665
支出の部			
人件費支出	546,719,945	514,111,000	32,608,945
教育研究経費支出	176,488,861	190,902,000	△ 14,413,139
管理経費支出	69,284,935	70,195,000	△ 910,065
借入金等利息支出	9,732,840	8,725,000	1,007,840
借入金等返済支出	33,320,000	33,320,000	0
施設関係支出	15,044,400	22,895,000	△ 9,850,600
設備関係支出	19,531,734	24,010,000	△ 2,478,266
資産運用支出	1,081,881,353	950,000,000	131,881,353
その他の支出	194,726,198	14,100,000	180,626,198
内部資金支出	28,453,191	30,301,000	△ 1,847,809
予備費	0	5,000,000	△ 5,000,000
資金支出調整勘定	△ 13,576,424	△ 14,865,000	1,288,576
次年度繰越支払資金	500,895,223	482,213,591	18,681,632
支出の部合計	2,662,502,256	2,330,637,591	331,864,665

財務状況

図1 《消費収支計算書関係比率の推移》



敬和学園大学の経営母体である学校法人敬和学園の財務状況をご報告します。毎年七月号のカレッジ・レポートで財務報告を掲載しております。興味がある方にはじっくり数字を眺められるのですが、中には数字を見ただけで、読むのがいやになる方もいらっしゃるのではないかと思います。限られた紙面の中で、丁寧な解説をすることは難しいことです。そこで、今回はポイントをかいつまんでの報告としてみました。さらに詳しくお知りになりたい方は、図や表をじっくりとご覧いただき、それでも分りにくい方は敬和学園大学の総務課へお問い合わせください。

敬和学園財務状況等のご報告

表1 《消費収支計算書関係比率の推移》

※比率の高低の評価は次のとおり。△高い値がよい ▼低い値がよい ~どちらともいえない

項目	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
人件費比率	48.7	47.2	49.5	52.6	50.4	55.4	60.6	62.1	59.7	60.9	57.9	58.4
人件費依存率	58.7	57.6	61.2	65.0	61.6	70.8	77.0	80.1	76.6	77.9	74.7	77.4
教育研究経費比率	17.2	21.1	21.2	21.2	23.4	24.3	28.1	31.4	30.7	31.6	26.3	25.0
管理経費比率	5.9	6.2	6.1	6.5	6.8	7.4	9.2	9.7	9.4	10.3	8.3	8.0
借入金等利息比率	0.4	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6	1.4	1.1	1.0
消費支出比率	72.2	76.4	78.5	82.0	82.6	89.1	100.0	104.9	101.6	105.0	94.2	92.8
消費収支比率	106.9	83.4	82.2	87.2	93.5	95.5	106.6	111.1	109.8	112.6	99.2	99.4
学納金比率	82.9	82.0	81.0	80.9	81.7	78.3	78.7	77.6	78.0	78.2	77.5	75.5
補助金比率	3.1	4.3	3.2	2.7	2.1	3.6	2.4	3.2	2.2	2.1	2.5	2.4
基本金組入率	32.5	8.4	4.5	6.0	11.6	6.7	6.1	5.6	7.4	6.7	5.1	6.6
減価償却費比率	11.3	13.5	13.1	12.9	14.2	12.7	13.2	14.2	13.8	12.3	9.3	8.1

表2 《2007年度開催のオープン・カレッジほか》

タイトル	講師	日程	参加者
新入生歓迎公開学術講演会「リベラルアーツの土壌の上に咲く花」	斎藤和明 学校法人明星学苑理事長	4月9日	29名
新発田市オープン・カレッジ「いのちと環境を見つめる」	北垣宗治 前学長ほか	6月7日～7月5日	189名
新潟市北区オープン・カレッジ「いのちと環境を見つめる」	新井明 学長ほか	6月12日～6月26日	56名
村上市オープン・カレッジ「ファンタジー」	桑原ヒサ子 教授	7月28日	28名
敬和キッズ・カレッジ「親子写真教室」	吉原悠博 フォトアーティスト	8月4日、8月25日	4名
敬和学園大学オープン・カレッジ「英米絵本のたのしみ」	吉田新一 立教大学名誉教授	9月29日～10月28日	146名
共済社会学科学術講演会「今求められる社会福祉実践と福祉思想」	阿部志郎 横須賀基督教社会館前館長	10月6日	156名
聖籠町オープン・カレッジ「国際社会とわたしたち」	中村義美 准教授ほか	10月16日～10月30日	33名
三条市オープン・カレッジ「ファンタジー」	杉村使乃 准教授ほか	10月18日～11月1日	40名
共同研究シンポジウム「新しい福祉思想の探求」	山田耕太 教授ほか	11月6日	60名
共同研究講演とシンポジウム「軍事化の<現在>を問う」	上野千鶴子 東京大学大学院教授ほか	11月10日	323名
クリスマス・チャリティ講演会「生と死とユーモア」	アルフォンス・デーケン 上智大学名誉教授	12月8日	304名
新発田学研究センター講演会「成功体験を通じてまちづくりを考える」	小林華弥子 由布市議会議員ほか	3月22日	150名

財務状況

●二〇〇八年年度予算
 大学部門の収入面では前年に比べて予算上の学生数が二八名減になることによる学納金の減、円高ドル安による資産運用収入の減、寄付金の減、事業収入の減が見込まれます。支出面では人件費をはじめとする各経費の削減を試みましたが、教育に必要な経費と建物の維持運営にかかる経費は削減しませんでした。玄関の構築物（キャノピー）が潮風による錆の発生で、防錆塗装では補修できない状態になっています。そこでキャノピーの全面撤去と新設工事を予算計上しました。また「テネックス（食堂）」を快適な空間にするため冷暖房設備の増築を行います。これらの工事があるため収入減に見合うだけの支出の減額はできず、残念ながら支出超過額五、六〇〇万円（三期ぶりの支出超過になる見込みです（表6））。

●二〇〇七年年度決算報告
 これらの事業をするために財的資源を投入してきましたが、大学部門では収支のバランスもとれ、五三〇万円の収入超過で決算を締めることができました。これで二年連続の収入超過となります。しかし長期的な財政見通しを考えると、あと二、三〇〇万円程度の収入増が欲しいところです。今年度は学生数が七二三名に達したことによる学生生徒納付金の増、資産運用収入が昨年の約二倍になったことなどによる収入増がありました。図書書の充実（現在の蔵書数七万六千部）やテニスコートを人工芝に張り替えることなどの施設の充実を行いました。ほかの支出面では経費の節減ができたことなどが収入超過につながった大きな要因でした（表6）。

●二〇〇八年年度予算
 なお、学校法人としてみると、四、一〇〇万円の支出超過になりました（表5）。

財務状況

●二〇〇七年年度決算報告
 これらの事業をするために財的資源を投入してきましたが、大学部門では収支のバランスもとれ、五三〇万円の収入超過で決算を締めることができました。これで二年連続の収入超過となります。しかし長期的な財政見通しを考えると、あと二、三〇〇万円程度の収入増が欲しいところです。今年度は学生数が七二三名に達したことによる学生生徒納付金の増、資産運用収入が昨年の約二倍になったことなどによる収入増がありました。図書書の充実（現在の蔵書数七万六千部）やテニスコートを人工芝に張り替えることなどの施設の充実を行いました。ほかの支出面では経費の節減ができたことなどが収入超過につながった大きな要因でした（表6）。

●二〇〇八年年度予算
 なお、学校法人としてみると、四、一〇〇万円の支出超過になりました（表5）。

●二〇〇八年年度予算
 大学部門の収入面では前年に比べて予算上の学生数が二八名減になることによる学納金の減、円高ドル安による資産運用収入の減、寄付金の減、事業収入の減が見込まれます。支出面では人件費をはじめとする各経費の削減を試みましたが、教育に必要な経費と建物の維持運営にかかる経費は削減しませんでした。玄関の構築物（キャノピー）が潮風による錆の発生で、防錆塗装では補修できない状態になっています。そこでキャノピーの全面撤去と新設工事を予算計上しました。また「テネックス（食堂）」を快適な空間にするため冷暖房設備の増築を行います。これらの工事があるため収入減に見合うだけの支出の減額はできず、残念ながら支出超過額五、六〇〇万円（三期ぶりの支出超過になる見込みです（表6））。

●二〇〇七年年度決算報告
 これらの事業をするために財的資源を投入してきましたが、大学部門では収支のバランスもとれ、五三〇万円の収入超過で決算を締めることができました。これで二年連続の収入超過となります。しかし長期的な財政見通しを考えると、あと二、三〇〇万円程度の収入増が欲しいところです。今年度は学生数が七二三名に達したことによる学生生徒納付金の増、資産運用収入が昨年の約二倍になったことなどによる収入増がありました。図書書の充実（現在の蔵書数七万六千部）やテニスコートを人工芝に張り替えることなどの施設の充実を行いました。ほかの支出面では経費の節減ができたことなどが収入超過につながった大きな要因でした（表6）。

●二〇〇八年年度予算
 なお、学校法人としてみると、四、一〇〇万円の支出超過になりました（表5）。

●二〇〇七年年度決算報告
 これらの事業をするために財的資源を投入してきましたが、大学部門では収支のバランスもとれ、五三〇万円の収入超過で決算を締めることができました。これで二年連続の収入超過となります。しかし長期的な財政見通しを考えると、あと二、三〇〇万円程度の収入増が欲しいところです。今年度は学生数が七二三名に達したことによる学生生徒納付金の増、資産運用収入が昨年の約二倍になったことなどによる収入増がありました。図書書の充実（現在の蔵書数七万六千部）やテニスコートを人工芝に張り替えることなどの施設の充実を行いました。ほかの支出面では経費の節減ができたことなどが収入超過につながった大きな要因でした（表6）。

●二〇〇八年年度予算
 なお、学校法人としてみると、四、一〇〇万円の支出超過になりました（表5）。

貸借対照表

2008年3月31日現在

表7 <学校法人 敬和学園> (単位:円)

科目	年度	科目	年度
	2007年度末		2007年度末
固定資産	4,224,953,648	固定負債	460,829,407
有形固定資産	3,795,326,595	長期借入金	383,325,425
土地	690,230,404	退職給与引当金	77,503,982
建物	2,566,091,776	流動負債	353,500,935
構築物	43,375,197	短期借入金	51,163,196
教育研究用機器備品	42,994,835	未払金	77,623,017
その他の機器備品	32,031,097	前受金	204,408,000
図書	402,642,142	修養会預り金	10,829,972
車輜	17,961,144	預り金	8,343,589
その他の固定資産	429,627,053	仮受金	1,133,161
電話加入権	1,878,040	負債の部合計	814,330,342
施設利用権	34,535	第1号基本金	6,598,722,870
有価証券	369,160,606	第4号基本金	120,000,000
長期貸付金	7,290,000	基本金の部合計	6,718,722,870
出資金	4,337,702	翌年度繰越消費支出超過額	△1,019,114,995
長期預け金	1,744,260	消費収支差額の部合計	△1,019,114,995
退職給与引当特定資産	41,000,000		
施設補充引当特定資産	4,181,910		
流動資産	2,288,984,569		
現金預金	859,096,500		
未収入金	50,389,510		
有価証券	1,378,374,253		
前払金	466,510		
立替金	629,986		
仮払金	27,810		
資産の部合計	6,513,938,217	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	6,513,938,217

表8 <敬和学園大学> (単位:円)

科目	年度	科目	年度
	2007年度末		2007年度末
固定資産	2,571,103,473	固定負債	298,344,382
有形固定資産	2,253,574,728	長期借入金	266,560,000
土地	549,816,875	退職給与引当金	31,784,382
建物	1,312,569,507	流動負債	219,264,591
構築物	14,812,025	短期借入金	33,320,000
教育研究用機器備品	27,640,136	未払金	12,776,844
その他の機器備品	6,552,107	前受金	167,844,000
図書	334,823,574	預り金	5,035,747
車輜	7,360,504	仮受金	288,000
その他の固定資産	317,528,745	負債の部合計	517,608,973
電話加入権	1,104,984	第1号基本金	3,496,865,831
施設利用権	34,535	第4号基本金	64,000,000
有価証券	303,935,206	基本金の部合計	3,560,865,831
長期貸付金	7,290,000	翌年度繰越消費支出超過額	691,252,601
長期預け金	982,110	消費収支差額の部合計	691,252,601
施設補充引当特定資産	4,181,910	内部部門勘定	△605,390,112
流動資産	1,593,233,820		
現金預金	500,895,223		
未収入金	33,708,274		
有価証券	1,057,925,396		
前払金	168,610		
立替金	523,507		
仮払金	12,810		
資産の部合計	4,164,337,293	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,164,337,293

2007年度消費収支計算書及び2008年度同予算書

表5 <学校法人 敬和学園> (単位:円)

収入の部			
科目	2007年度決算額	2008年度予算額	増減
学生生徒等納付金	1,036,704,560	1,024,860,000	11,844,560
手数料	16,903,987	16,122,000	781,987
寄付金	47,276,495	50,174,000	△2,897,505
補助金	402,276,041	401,135,000	1,141,041
(国庫補助金)	(137,179,000)	(133,105,000)	(4,074,000)
(地方公共団体補助金)	(265,097,041)	(268,030,000)	(△2,932,959)
資産運用収入	27,760,561	16,150,000	11,610,561
事業収入	101,544,049	100,616,000	928,049
雑収入	46,356,193	34,351,000	12,005,193
帰属収入合計	1,678,821,886	1,643,408,000	35,413,886
基本金組入額	△92,709,474	△115,525,000	22,815,526
消費収入の部合計	1,586,112,412	1,527,883,000	58,229,412
支出の部			
科目	2007年度決算額	2008年度予算額	増減
人件費	1,084,694,174	1,035,287,000	49,407,174
教育研究経費	356,892,307	371,209,000	△14,316,693
管理経費	163,811,348	157,241,000	6,570,348
借入金等利息	13,329,702	11,341,000	1,988,702
資産処分差額	5,039,170	1,000,000	4,039,170
徴収不能引当繰入額	3,431,850	0	3,431,850
予備費	0	5,000,000	△5,000,000
消費支出の部合計	1,627,198,551	1,581,078,000	46,120,551
当年度消費支出超過額	△41,086,139	△53,195,000	
前年度繰越消費支出超過額	△978,028,856	△1,011,818,593	
基本金取崩額	0	11,700,000	
翌年度繰越消費支出超過額	△1,019,114,995	△1,053,313,593	

表6 <敬和学園大学> (単位:円)

収入の部			
科目	2007年度決算額	2008年度予算額	増減
学生生徒等納付金	727,497,100	705,051,000	22,446,100
手数料	10,654,267	10,147,000	507,267
寄付金	23,033,757	15,174,000	7,859,757
補助金	137,236,983	133,160,000	4,076,983
(国庫補助金)	(137,179,000)	(133,105,000)	(4,074,000)
(地方公共団体補助金)	(57,983)	(55,000)	(2,983)
資産運用収入	24,110,663	12,420,000	11,690,663
事業収入	8,215,618	5,185,000	3,030,618
雑収入	32,770,574	1,809,000	30,961,574
帰属収入合計	963,518,962	882,946,000	80,572,962
基本金組入額	△63,755,570	△80,725,000	16,969,430
消費収入の部合計	899,763,392	802,221,000	97,542,392
支出の部			
科目	2007年度決算額	2008年度予算額	増減
人件費	562,760,727	514,011,000	48,749,727
教育研究経費	240,585,534	252,170,000	△11,584,466
管理経費	77,514,199	78,652,000	△1,137,801
借入金等利息	9,732,840	8,725,000	1,007,840
資産処分差額	3,787,439	0	3,787,439
予備費	0	5,000,000	△5,000,000
消費支出の部合計	894,380,739	858,558,000	35,822,739
当年度消費収入超過額	5,382,653		
当年度消費支出超過額		△56,337,000	
前年度繰越消費収入超過額	685,869,948	686,802,948	
翌年度繰越消費収入超過額	691,252,601	630,465,948	